群馬県 × 株式会社ＳＵＢＡＲＵ

ものづくり DX共創 プログラム

現場のDX課題を、
SUBARUと一緒に考えませんか

参加企業 募集

定員5社

※1社あたりの参加人数は問いません

このプログラムの目的

県内企業とSUBARUが現場のDXの取組みと悩みを持ち寄り、課題解決のヒントを一緒に見つける場です。

持ち寄る	▶	話し合う	▶	持ち帰る
取組みと困りごと		SUBARU・参加企業と意見交換		自社の次の一手に

テーマ ｜ 現場データをどう集め、どう使うか

日程	令和９年1月下旬頃（1日間） ※詳細日程は参加者決定後に調整
会場	株式会社ＳＵＢＡＲＵ　モノづくり本部 群馬県太田市スバル町1-1　モノづくりデジタル推進部
対象	DXに取り組む県内企業
参加費	無料
申込締切	令和8年12月18日（金）

お申込みはこちら



SUBARUの声

困りごとや失敗事例も大歓迎です！
実践事例や課題を持ち寄り県内企業同士で学び合いDXを推進し、
一緒により良いDXを考えましょう！

群馬県の声

本事業は完成された成功事例を求めるものではなく、課題や悩みを共有しながら一緒に考える場です。まずは、お気軽にお問い合わせください！



詳しい内容は裏面をご確認ください ≫

群馬県 × 株式会社ＳＵＢＡＲＵ

ものづくりDX共創プログラム

テーマ ｜ 現場データをどう集め、どう使うか

1 募集する企業

現場データ活用・AI活用などの
DX推進に取り組み
自社の実践事例や課題を持つ県内企業

自社の実践事例　課題

失敗事例・
困りごとも
大歓迎

2 参加条件

01 自社の取組を紹介できる

例：現場データ活用、帳票電子化、AI画像検査、設備保全、人材育成　など

02 困りごとを1つ以上持参

例：データを活かせない/AIが定着しない/現場入力が続かない　など

03 守秘に配慮して議論できる

原価・顧客名・図面は出さず、課題構造と進め方・失敗要因を共有

3 プログラム内容（予定）

1. プログラム内容説明
2. SUBARU事例紹介
3. 参加企業発表
4. グループ討議
5. 相互フィードバック
6. 次アクションの整理

発表でお話しいただくこと

- ☑ 自社の現場課題
- ☑ 取り組んだこと（データ・ツール・人）
- ☑ うまくいったこと・いかなかったこと
- ☑ SUBARUや他社に聞きたいこと

終了時アクション案を出す

自社での今後の進め方、県やSUBARUへの提案、連携したいこと　など

お問い合わせ先
群馬県産業経済部 地域企業支援課（担当：久保）
TEL：027-226-3352　Mail：gijutsu@pref.gunma.lg.jp